

## 船橋市自然散策会

### 藤原・丸山で秋の親子自然散策会

林 信子（船橋市）

日 時：2024 年 11 月 16 日（土）9：30～12：00 天候：曇り～晴れ

場 所：藤原市民の森 丸山の森緑地

参加者：一般 21 名（大人 10 名 子ども 11 名）

担当指導員：勝股政雄 山口正明 林信子

法典公民館でレクチャーを受け、ビンゴカードを持って出発。袋を渡して宝物集め。初めての宝物は、桜の赤や黄色に紅葉した美しい葉っぱでした。藤原の森に着くと船橋の木・サザンカが咲き、下には花びらが一枚一枚散っています。ツバキとの違いは子房に毛が生えている事、それを虫メガネで観察してもらいました。許可を得て柵内に入り土の上を歩くとフカフカしているねと楽しそうに歩く。地面の上の赤いつぶつぶはウラシマソウの種とむき出しになった球根。釣り糸を垂らした花の写真を見てもらう。小3の生き物博士ちゃんがいてツチイナゴ、オンブバッタを見つけてくれます。ショウリョウバッタですとやっとの思いで捕まえたら、博士ちゃんに「違います。クビキリギスです」訂正されてしまい、よく見るとなるほどアゴが赤くなっていました。

ドングリを使ってパチンコをする。ここにはコナラ、クヌギのドングリが一面に落ちています。パチンコのY字の枝は用意し、輪ゴムとセロハンテープでドングリを置くところを作ってもらい、ドングリを玉にして、輪ゴムをひっぱり、的めがけて飛ばします。小1でも結構飛ばすことができました。歩いているとズボンに付いてくるひつつきむし、チジミザサ、どうやって引っ付くのか虫メガネで芒の先に粘液がついているのを見てもらいました。

草花プレスレット作り。粘着テープの粘着性のある面を外側にして腕に巻いてそこに自分の好きなものを付けてもらい、プレスレットを作る。イモカタバミのピンクの花、ハートの葉、ムラサキシキブの実などで飾られていました。ハランの実、お茶の花、サワフタギの藍色の実、など観察。ナラ枯れで切られたのか大きな木の切り株があり、その朽ちてきた辺りにコロコロとした粒状のカブトの幼虫の糞？と思われるものがあり、下に探っていくとなんと白いカブトムシの幼虫が出てきたではありませんか。これには子供たちも大興奮です。夏に生まれた卵から3齢幼虫になりこのまま越冬。クワガタを飼っていたというお父さんがカブトは、冬は越せないがクワガタは成虫でも越冬し3年ぐらい飼っていたと話をしてくれた。別の大きなコナラの根もとに蜜が出て黒くなっています。良く見るとオオスズメバチが蜜を吸っているではありませんか。少し離れて静かに、でもドキドキしながら観察しました。

丸山の森は常緑樹も多く少し暗い。黒と緑の市松模様の布の上に「私の宝物」を乗せてもらい、振り返りをしました。「自然の中をよく見ると新しい発見が沢山あって楽しかった」との感想。身近な自然に皆で触れて、体感することで心にも体にも良いことがあると良いですね。又、子供たちには良い体験になってくれると良いと願っています。



カブトムシ幼虫発見